

募集代理店

 **新生銀行**
一生受けとれる

HALFtime+ ハーフタイム・プラス

変額個人年金保険(07)終身D3型

引受保険会社

 **アクサ生命保険株式会社**
redefining / standards

特別勘定（世界分散型40AF（02）/世界分散型20AF（02））

四半期運用実績レポート

2016年1月～2016年3月

【利用する投資信託の委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、米国ステート・ストリート銀行の資産運用部門(SSGA)の東京拠点です。1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。ステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統を有する金融機関であり、卓越した財務内容と高い信用力を有しています。SSGAは、最先端テクノロジーと高度な運用技術を駆使したクオンツ運用に定評があり、特にインデックス運用では世界有数の資産運用会社として評価されています。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険(07)終身D3型」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

変額個人年金保険(07)終身D3型

特別勘定の四半期運用実績レポート(2016年1月~2016年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が作成した運用環境をアクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2016年1月~2016年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、中国市場の混乱や中東情勢、原油安、欧州の信用不安などの悪材料が相次ぎ下落しましたが、その後は日欧の追加金融緩和や円高の落ち着きを受けて下げ幅を縮小させました。1月は中国市場の混乱や中東情勢の緊迫化、原油安などを背景に投資家心理が悪化し世界的な株安となる中、大幅に下落しました。1月末に日銀がマイナス金利導入を発表すると反発しましたが、米景気の減速懸念や欧州の信用不安などの悪材料に加え円高進行で企業業績への不透明感が強まり、2月も大幅下落となりました。3月に入ると、米景気への過度な不安が後退したことや欧州中央銀行(ECB)の追加金融緩和策が評価されたこと、原油安や円高進行が一服したことなどで上昇しました。しかし、企業業績への警戒感も根強く、米利上げの見送りなどで円高に振れると下落し、期末にかけては膠着感の強い展開となりました。

業種別では、マイナス金利の導入を受けた収益環境の悪化が懸念された「銀行業」(前期末比▲29.35%)の下落率が最大となった一方、「ゴム製品」(前期末比▲1.18%)の下落率が最小となりました。

【外国株式市場】

外国株式市場は、原油安の進行や世界的な景気減速懸念を背景に2月上旬にかけて大幅に下落しましたが、その後は原油価格の上昇や米欧の金融政策への期待感が相場を支え年初以降の下落分を縮小する展開となりました。市場毎の四半期騰落率は、米国市場が約1%の上昇となったのに対し、欧州市場が▲5%弱の下落、アジア市場が約▲2%の下落となりました。

米国株式市場は、軟調な原油価格を嫌気して1月中旬まで下落基調が続きましたが、下旬は欧州の金融政策への期待感の高まりや原油相場の下げ止まりを受けて上昇しました。2月上旬は再び反落する動きとなりましたが、月央以降は好調な米国経済指標を受けて反発し、3月に入っても原油高や米追加利上げに対する慎重な姿勢を好感じ堅調に推移しました。

欧州株式市場は、原油安や企業決算の不振に加え主要銀行の信用リスク懸念などの悪材料が重なり2月上旬にかけて大幅に下落しましたが、その後は原油価格の落ち着きや域内景気刺激策への期待感の高まりを受けて概ね堅調に推移しました。

アジア株式市場は、原油安や中国景気懸念などから1月中旬まで大幅下落となりましたが、その後は原油価格の持ち直しを受けて概ね上昇基調で推移しました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、1月末に日銀が金融政策決定会合で予想外にマイナス金利政策の導入を決めたことを受けて債券が大きく買われました。2月以降は、10-12月期GDP(速報値)が事前予想を下回ってマイナス成長となったことや機械受注が事前予想を下回るなど経済指標が軟調である中、世界的にリスク許容度が悪化したことや利回りがプラス圏にある債券を買う動きが活発化したことを背景に、利回りの過去最低を更新しながら超長期債を中心に債券が買われました。日本10年国債利回りは前期末から▲0.294%低下の▲0.029%となりました。無担保コール翌日物は前期末から▲0.040%低下の▲0.002%となりました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、前半は原油価格が一時1バレル30ドルを割ったことや中国金融市場の先行きが不透明であることなどを背景に債券が買われました。3月に入ると、月前半は堅調な経済指標に加え原油価格が持ち直したことを受けてリスク許容度が改善したことを背景に債券が売られました。期末にかけてはイレブン米連邦準備制度理事会(FRB)議長の発言を受けて利上げペースは緩やかになるとの見方が強まり債券が買われました。米国10年国債利回りは前期末から▲0.500%低下の1.769%となりました。

欧州債券市場は、前半はドラギECB総裁による追加緩和の示唆や原油価格の続落、欧州で金融機関の財務悪化に対する懸念が強まったことを背景に独債が買われる展開となりました。3月にはECBが中銀預金金利を0.10%引き下げるなどの追加緩和を実施しましたが、その後の記者会見で追加利下げを見込まないとドラギ総裁が発言したことを背景に独債が一時売られました。英国債券市場は、世界的にリスク許容度が悪化する中、イングランド銀行(BOE)による利上げ期待が遠のき英国債が買われました。独10年国債利回りは前期末から▲0.476%低下の0.153%、英10年国債利回りは▲0.545%低下の1.415%となりました。

【外国為替市場】

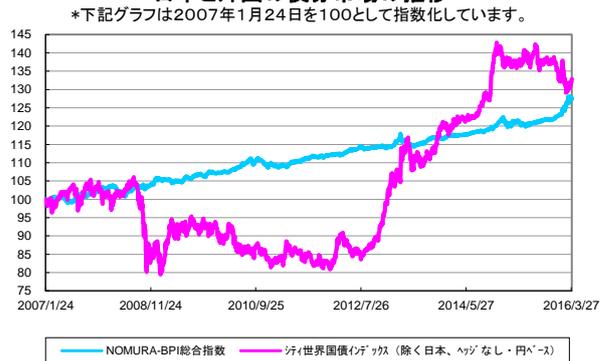
米ドル/円相場は、1月末に日銀が予想外にマイナス金利政策の導入を決定したことを受けて一時的に円が売られました。その後は原油価格の下落や日米欧の軟調な経済指標などを背景に、世界的にリスク回避姿勢が高まる中で円が米ドルに対して上昇しました。円は対米ドルで前期末から7円93銭(6.57%)円高ドル安の1ドル=112円68銭となりました。

ユーロ/円相場は、マイナス金利政策の導入決定を受けて日本円は軟化しましたが、その後は原油価格の下落や欧州での金融機関の財務悪化に対する懸念の高まり、英国の欧州連合(EU)離脱の可能性などを背景にユーロが軟調となりました。円は対ユーロで前期末から4円7銭(3.09%)円高ユーロ安の1ユーロ=127円70銭となりました。

日本と外国の株式市場の推移

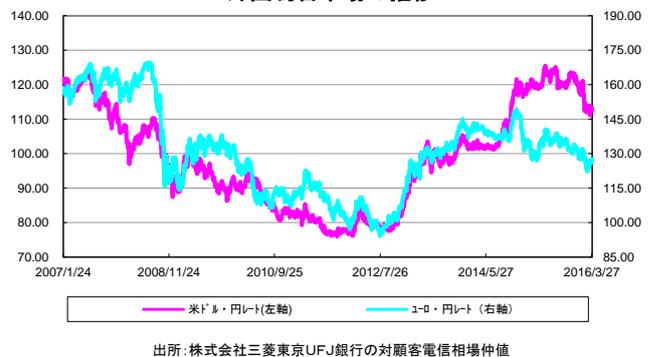


日本と外国の債券市場の推移



出所:ジェネリック日本利付国債残存10年単利(ブルームバーグ)
出所:ジェネリック米国国債10年およびドイツ国債10年の利回り(ブルームバーグ)

外国為替市場の推移



【募集代理店】

新生銀行 〒103-8303 東京都中央区日本橋室町2-4-3
新生パワーコール 0120-456-860

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額個人年金保険(07)終身D3型

特別勘定の四半期運用実績レポート(2016年1月~2016年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2016年3月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型40AF(O2)	<ul style="list-style-type: none"> 当ファンドは、日本株式20% (運用の指標: 東証株価指数配当込み)、日本債券30% (運用の指標: NOMURA-BPI総合指数)、外国株式20% (運用の指標: MSCIコクサイ指数(円ベース))、外国債券30% (運用の指標: シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース))*を基本配分比率とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 * 外国債券については、実質的な組入外貨建資産の50% 部分について、原則として為替ヘッジを行います。 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の変動幅を設け調整を行います。 受益証券の配分に代えて、トータル・リターン・スワップ取引を利用する場合があります。(詳しくは、P.4をご覧ください)
利用する投資信託	
ステート・ストリート4資産バランス40VA <適格機関投資家限定>	
特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型20AF(O2)	<ul style="list-style-type: none"> 当ファンドは、日本株式10% (運用の指標: 東証株価指数配当込み)、日本債券40% (運用の指標: NOMURA-BPI総合指数)、外国株式10% (運用の指標: MSCIコクサイ指数(円ベース))、外国債券40% (運用の指標: シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース))*を基本配分比率とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 * 外国債券については、実質的な組入外貨建資産の100%について、原則として為替ヘッジを行います。 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の変動幅を設け調整を行います。 受益証券の配分に代えて、トータル・リターン・スワップ取引を利用する場合があります。(詳しくは、P.5をご覧ください)
利用する投資信託	
ステート・ストリート4資産バランス20VA <適格機関投資家限定>	

特別勘定のユニット・プライスの推移

※ 特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。

世界分散型40AF(O2)



世界分散型20AF(O2)



・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日(2008年5月15日)を100.00として計算しております。

特別勘定のユニット・プライス	騰落率(%)
2016年3月末	過去1ヶ月 2.34%
2016年2月末	過去3ヶ月 ▲3.29%
2016年1月末	過去6ヶ月 ▲0.39%
2015年12月末	過去1年 ▲5.24%
2015年11月末	過去3年 15.76%
2015年10月末	設定来 8.05%

特別勘定のユニット・プライス	騰落率(%)
2016年3月末	過去1ヶ月 1.21%
2016年2月末	過去3ヶ月 0.11%
2016年1月末	過去6ヶ月 1.37%
2015年12月末	過去1年 ▲2.09%
2015年11月末	過去3年 7.73%
2015年10月末	設定来 8.51%

・実際のユニット・プライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。

・騰落率は、該当月の月末のユニット・プライスに対する今月末のユニット・プライスの変動率を表しています。

特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型40AF(O2)	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	12,114,219	99.0
現預金・その他	128,484	1.0
合計	12,242,704	100.0

項目	世界分散型20AF(O2)	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	4,216,113	98.9
現預金・その他	47,604	1.1
合計	4,263,717	100.0

・各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

・金額の単位未満は四捨五入してとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入してとしました。

【募集代理店】


新生銀行 〒103-8303 東京都中央区日本橋室町2-4-3
 新生パワーコール 0120-456-860

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/>

変額個人年金保険(07)終身D3型

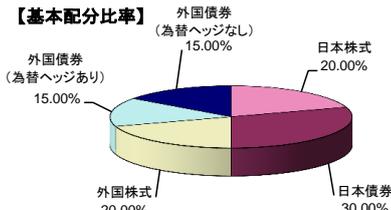
特別勘定の四半期運用実績レポート(2016年1月~2016年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

ステート・ストリート4資産バランス40VA<適格機関投資家限定>の運用状況 [2016年3月末日現在]

■ファンドの特色

【基本配分比率】



当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

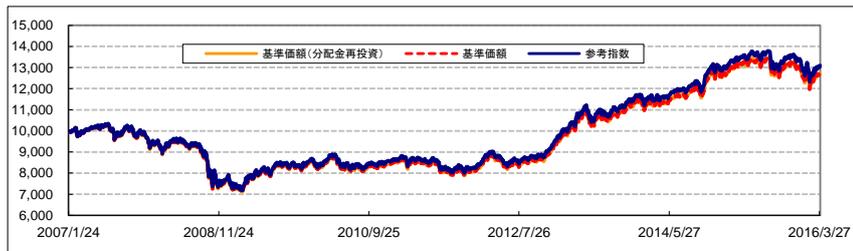
ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券:「TOPIX(東証株価指数配当込み)」
 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券:「NOMURA-BPI総合指数」
 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券:「MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)」
 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券:「シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」*

*当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産の50%部分について、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」となります。

マザーファンド受益証券の配分に代えて、各マザーファンドを基本配分比率で合成した指数(ただし外国債券の為替ヘッジを行う部分については円ヘッジベース)のリターンと短期金利レートの金利を一定の条件のもとに交換するトータル・リターン・スワップ取引を利用する場合があります。

■基準価額の推移

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、ステート・ストリート4資産バランス40VA<適格機関投資家限定>の設定日(2007年1月24日)を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.162%(税込0.15%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。
- ・参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)20%、NOMURA-BPI総合指数30%、MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)20%、シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)15%、およびシティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)15%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2016年3月31日	前月末	前月末比
基準価額	12,712 円	12,391 円	321 円
純資産総額(百万円)	40,110	39,481	629

	基準価額	日付
設定来高値	13,465 円	2015年8月11日
設定来安値	7,124 円	2009年3月10日

■資産構成

金融派生商品を使用する場合、短期金融資産の投資比率が高くなる場合があります。

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	20.00%	5.67%
日本債券	30.00%	8.54%
外国株式	20.00%	5.84%
外国債券(為替ヘッジあり)	15.00%	4.43%
外国債券(為替ヘッジなし)	15.00%	4.27%
短期金融資産	0.00%	71.24%
合計	100.00%	100.00%

- ・ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- ・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- ・REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

・下記比率は、純資産総額に対する国別及び通貨別の比率となります(「短期金融資産」を除く)。

■組入上位5カ国

国名	比率
日本	14.21%
アメリカ	7.19%
イギリス	1.10%
フランス	1.09%
イタリア	0.91%

■組入上位5通貨

通貨	比率
円	18.64%
米ドル	5.30%
ユーロ	2.45%
ポンド	0.76%
加ドル	0.29%

・上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.59%	▲2.70%	0.90%	▲2.80%	25.40%	27.12%
参考指数	2.69%	▲2.56%	1.25%	▲2.41%	26.55%	30.69%
差	▲0.10%	▲0.14%	▲0.34%	▲0.39%	▲1.15%	▲3.57%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しております。
- また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【募集代理店】

新生銀行 〒103-8303 東京都中央区日本橋室町2-4-3
 新生パワーコール 0120-456-860

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額個人年金保険(07)終身D3型

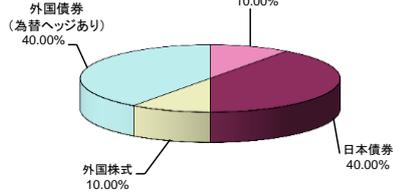
特別勘定の四半期運用実績レポート(2016年1月~2016年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

ステート・ストリート4資産バランス20VA<適格機関投資家限定>の運用状況 [2016年3月末日現在]

■ファンドの特色

【基本配分比率】



当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

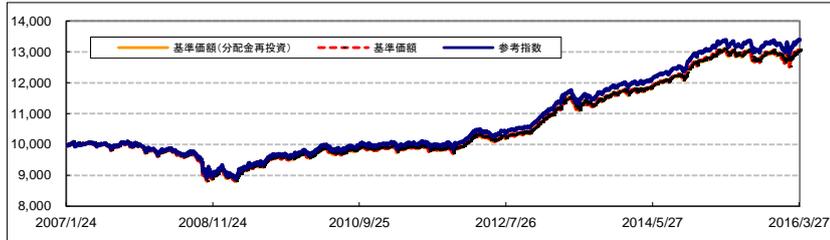
ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券: 「TOPIX(東証株価指数配当込み)」
 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券: 「NOMURA-BPI総合指数」
 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券: 「MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)」
 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券: 「シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」*

*当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」となります。

マザーファンド受益証券の配分に代えて、各マザーファンドを基本配分比率で合成した指数(ただし外国債券の為替ヘッジを行う部分については円ヘッジベース)のリターンと短期金利レートの金利を一定の条件のもとに交換するトータル・リターン・スワップ取引を利用する場合があります。

■基準価額の推移

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、ステート・ストリート4資産バランス20VA<適格機関投資家限定>の設定日(2007年1月24日)を10,000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.162%(税抜0.15%))控除後の値です。
- 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- 参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)10%、NOMURA-BPI総合指数40%、MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)10%、およびシティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)40%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2016年3月31日	前月末	前月末比
基準価額	13,041 円	12,854 円	▲187 円
純資産総額(百万円)	9,067	9,104	▲38

	基準価額	日付
設定来高値	13,093 円	2015年4月28日
設定来安値	8,804 円	2009年3月10日

■資産構成

金融派生商品を使用する場合、短期金融資産の投資比率が高くなる場合があります。

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	10.00%	3.23%
日本債券	40.00%	12.82%
外国株式	10.00%	3.32%
外国債券(為替ヘッジあり)	40.00%	12.85%
短期金融資産	0.00%	67.79%
合計	100.00%	100.00%

- ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.45%	0.76%	2.72%	0.45%	16.58%	30.42%
参考指数	1.50%	0.83%	2.97%	0.85%	17.58%	33.85%
差	▲0.05%	▲0.07%	▲0.25%	▲0.40%	▲1.00%	▲3.43%

- ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。
- また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

- 下記比率は、純資産総額に対する国別及び通貨別の比率となります。「短期金融資産」を除く。

■組入上位5カ国

国名	比率
日本	16.05%
アメリカ	7.42%
フランス	1.41%
イタリア	1.30%
イギリス	1.24%

■組入上位5通貨

通貨	比率
円	28.95%
米ドル	1.89%
ユーロ	0.37%
ポンド	0.23%
加ドル	0.12%

- 上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

【募集代理店】

新生銀行 〒103-8303 東京都中央区日本橋室町2-4-3
 新生パワーコール 0120-456-860

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額個人年金保険(07)終身D3型

特別勘定の四半期運用実績レポート(2016年1月~2016年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

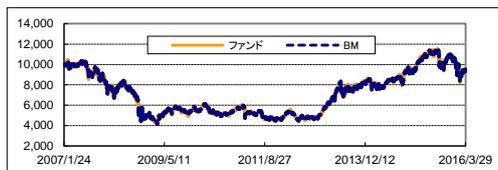
各マザーファンドの運用状況 [2016年3月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク(BM) : TOPIX(東証株価指数配当込み)
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 114,680 百万円



・ 2007年1月24日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	4.81%	▲12.07%	▲3.45%	▲10.84%	38.26%	▲6.37%
ベンチマーク	4.83%	▲12.04%	▲3.39%	▲10.82%	38.19%	▲6.63%
差	▲0.02%	▲0.03%	▲0.06%	▲0.02%	0.07%	0.25%

・ 設定以来の騰落率は、2007年1月24日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,938 銘柄

順位	銘柄	業種	ファンド	BM
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.61%	3.72%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.02%	2.07%
3	日本電信電話	情報・通信業	1.81%	1.86%
4	日本たばこ産業	食料品	1.52%	1.56%
5	KDDI	情報・通信業	1.47%	1.51%
6	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.47%	1.51%
7	本田技研工業	輸送用機器	1.36%	1.39%
8	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.32%	1.35%
9	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.14%	1.18%
10	武田薬品工業	医薬品	1.05%	1.08%
合計			16.75%	17.23%

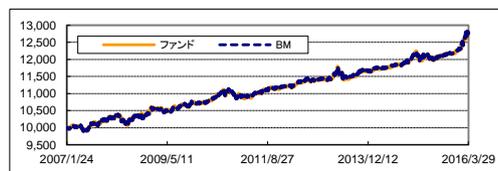
組入上位10業種

順位	業種	ファンド	BM	差
1	電気機器	11.30%	11.62%	▲0.32%
2	輸送用機器	9.55%	9.82%	▲0.27%
3	情報・通信業	7.93%	8.17%	▲0.23%
4	銀行業	7.19%	7.40%	▲0.21%
5	化学	5.95%	6.12%	▲0.17%
6	医薬品	5.49%	5.65%	▲0.15%
7	小売業	4.94%	5.08%	▲0.14%
8	食料品	4.92%	5.06%	▲0.14%
9	機械	4.51%	4.63%	▲0.13%
10	陸運業	4.50%	4.63%	▲0.13%
合計		66.28%	68.17%	▲1.89%

ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク(BM) : NOMURA-BPI総合指数
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 137,101 百万円



・ 2007年1月24日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.78%	3.79%	4.82%	5.42%	9.18%	27.25%
ベンチマーク	0.81%	3.81%	4.84%	5.40%	9.17%	27.32%
差	▲0.04%	▲0.01%	▲0.02%	0.02%	0.02%	▲0.07%

・ 設定以来の騰落率は、2007年1月24日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 607 銘柄

順位	銘柄	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	第340回利付国債	0.400%	2025年9月20日	1.30%	0.86%
2	第298回利付国債	1.300%	2018年12月20日	1.22%	0.46%
3	第297回利付国債	1.400%	2018年12月20日	0.92%	0.27%
4	第339回利付国債	0.400%	2025年6月20日	0.88%	0.88%
5	第304回利付国債	1.300%	2019年9月20日	0.84%	0.30%
6	第295回利付国債	1.500%	2018年6月20日	0.84%	0.28%
7	第313回利付国債	1.300%	2021年3月20日	0.78%	0.56%
8	第305回利付国債	1.300%	2019年12月20日	0.77%	0.83%
9	第302回利付国債	1.400%	2019年6月20日	0.77%	0.29%
10	第293回利付国債	1.800%	2018年6月20日	0.77%	0.27%
合計				9.09%	5.00%

・ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取る利息の割合のことで表面利率を表します。

債券種別資産構成比率

	ファンド	BM	差
国債	79.14%	81.86%	▲2.72%
地方債	6.12%	5.72%	0.40%
政府保証債	3.81%	3.21%	0.60%
金融債	0.81%	0.82%	▲0.01%
事業債	7.89%	6.62%	1.27%
円建外債	0.67%	0.51%	0.16%
MBS債	1.53%	1.26%	0.27%
コール・その他	0.03%	0.00%	0.03%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

・ 資産担保証券(ABS)は事業債に含まれています。

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	0.05%	0.04%	0.01%
平均クーポン	1.37%	1.16%	0.21%
平均残存期間	9.24	9.19	0.04
修正デュレーション	8.77	8.76	0.01

・ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・ 2013年11月より、BMの数値はポートフォリオの属性分析を行っている大和Poetにより、委託会社が計算して掲載しております。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【募集代理店】

新生銀行 〒103-8303 東京都中央区日本橋室町2-4-3
新生パワーコール 0120-456-860

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額個人年金保険(07)終身D3型

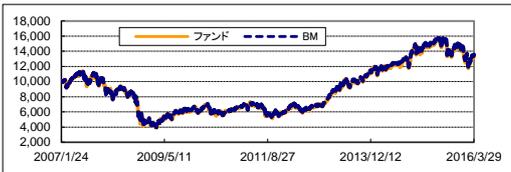
特別勘定の四半期運用実績レポート(2016年1月~2016年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 [2016年3月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド



・ 2007年1月24日を10,000として指数化しています。

※ ベンチマーク (BM) : MSCIロクサイ・インデックス(円ベース) **純資産総額:** 138,945 百万円
 ※ 比率は、純資産総額比となります。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	5.82%	▲7.52%	1.31%	▲9.40%	49.61%	33.96%
ベンチマーク	5.83%	▲7.50%	1.35%	▲9.34%	50.03%	35.79%
差	▲0.02%	▲0.02%	▲0.04%	▲0.06%	▲0.41%	▲1.83%

・ 設定以来の騰落率は、2007年1月24日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,331 銘柄

順位	銘柄	国名	業種	ファンド	BM
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.94%	2.09%
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.33%	1.43%
3	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.12%	1.20%
4	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.96%	1.03%
5	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.95%	1.03%
6	FACEBOOK INC-A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.83%	0.89%
7	AT & T INC	アメリカ	電気通信サービス	0.77%	0.83%
8	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.76%	0.82%
9	AMAZON COM INC	アメリカ	小売	0.76%	0.82%
10	WELLS FARGO COMPANY	アメリカ	銀行	0.75%	0.81%
合計				10.16%	10.93%

・ ベンチマーク (BM) の比率は2016年3月30日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場値で円換算したものです。

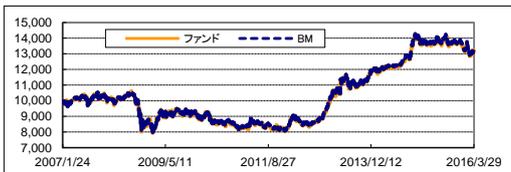
組入上位10業種

順位	業種	ファンド	BM
1	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.74%	9.41%
2	ソフトウェア・サービス	8.17%	8.79%
3	銀行	7.71%	8.29%
4	資本財	6.85%	7.33%
5	エネルギー	6.40%	6.89%
6	食品・飲料・タバコ	6.12%	6.60%
7	素材	4.24%	4.54%
8	保険	3.92%	4.22%
9	小売	3.72%	4.00%
10	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.63%	3.91%
合計		59.50%	63.97%

組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	60.14%	64.65%
2	イギリス	7.37%	7.89%
3	フランス	3.80%	4.09%
4	カナダ	3.48%	3.73%
5	ドイツ	3.46%	3.74%
6	スイス	3.43%	3.70%
7	オーストラリア	2.67%	2.86%
8	香港	1.27%	1.35%
9	スペイン	1.21%	1.30%
10	オランダ	1.18%	1.26%
合計		88.01%	94.58%

ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド



・ 2007年1月24日を10,000として指数化しています。

※ ベンチマーク (BM) : シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース) **純資産総額:** 162,874 百万円
 ※ 比率は、純資産総額比となります。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.78%	▲1.95%	▲3.29%	▲3.40%	25.51%	32.16%
ベンチマーク	1.80%	▲1.90%	▲3.25%	▲3.32%	25.64%	32.83%
差	▲0.02%	▲0.05%	▲0.04%	▲0.08%	▲0.13%	▲0.67%

・ 設定以来の騰落率は、2007年1月24日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 443 銘柄

順位	銘柄	通貨	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2022年2月15日	0.93%	0.20%
2	アメリカ国債	米ドル	1.375%	2020年1月31日	0.91%	0.15%
3	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2025年2月15日	0.85%	0.42%
4	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2020年9月30日	0.72%	0.13%
5	アメリカ国債	米ドル	1.875%	2017年9月30日	0.70%	0.15%
6	アメリカ国債	米ドル	3.625%	2021年2月15日	0.69%	0.32%
7	アメリカ国債	米ドル	8.000%	2021年11月15日	0.69%	0.08%
8	アメリカ国債	米ドル	1.750%	2022年5月15日	0.67%	0.16%
9	アメリカ国債	米ドル	3.625%	2020年2月15日	0.67%	0.30%
10	アメリカ国債	米ドル	2.375%	2020年12月31日	0.66%	0.15%
合計					7.48%	2.07%

・ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

・ ベンチマーク (BM) の比率は2016年3月30日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場値で円換算したものです。

組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	42.26%	42.37%
2	フランス	10.01%	10.03%
3	イタリア	9.90%	9.89%
4	イギリス	7.73%	7.82%
5	ドイツ	7.57%	7.59%
6	スペイン	5.58%	5.55%
7	ベルギー	2.68%	2.67%
8	オランダ	2.50%	2.49%
9	カナダ	2.06%	2.06%
10	オーストラリア	1.81%	1.82%
合計		92.11%	92.29%

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	1.05%	1.04%	0.01%
平均クーポン	3.41%	2.78%	0.63%
平均残存期間	8.25	8.10	0.15
修正デュレーション	6.95	6.92	0.03

・ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・ 上記の属性は2016年3月30日時点のものです。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【募集代理店】

新生銀行 〒103-8303 東京都中央区日本橋室町2-4-3
 新生パワーコール 0120-456-860

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/

変額個人年金保険(07) 終身D3型のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

- ・この保険は、積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- ・特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行っており、株式および公社債等の価格変動と為替変動等にもなる投資リスクがあります。
- ・特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- ・運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額等が一時払保険料を下回る場合があります。
- ・特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、アクサ生命、アクサ生命の募集代理店および第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【諸費用について】

- この保険では、「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。一般勘定で運用する年金をご選択の場合、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期	
契約初期費	ご契約の締結等に必要の費用	一時払保険料に対して 5.0%	特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

【積立期間中および保証金額付特別勘定年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期	
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.55%	積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	投資信託の信託報酬等、特別勘定の運用に必要な費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.1620%程度 (税抜0.15%程度)*	特別勘定にて利用する投資信託における純資産額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

* 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。

信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することになります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更になる可能性があります。

【一般勘定で運用する年金の支払期間中】

※ 一般勘定で運用する年金とは、保証期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・確定年金・一時金付終身年金を意味します。(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます。)

項目	費用	ご負担いただく時期	
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0%*	年金支払日に責任準備金から控除します。

* 年金管理費は、将来変更になる可能性があります。

変額個人年金保険(07)終身D3型「HALFtime+」は現在販売していません。

【募集代理店】


新生銀行 〒103-8303 東京都中央区日本橋室町2-4-3
 新生パワーコール 0120-456-860

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/